

岩手大学農学部農学生命課程准教授募集要項

本課程では、下記募集要項により准教授1名を広く公募します。

選考は本学の定める手続きにより行い、結果は応募者本人にお知らせします。

1. 職種・人員： 准教授1名

2. 所属・担当学部

農学部農学生命課程に所属し、生命資源科学コース蔬菜花卉園芸学を担当します。大学院は農学研究科農学生命専攻に所属します。

なお、平成28年度に改組が予定されており、改組後は農学生命科学科(仮称)及び大学院は総合科学研究科農学専攻農学生命科学コース(仮称)に所属の予定です。

3. 担当教育研究専門分野： 蔬菜花卉園芸学

主要担当科目

学部：蔬菜園芸学、園芸学概論(分担)、蔬菜花卉園芸学実験(分担)、生命資源科学演習 I、II

大学院：蔬菜園芸学特論

その他：全学共通教育科目・学部専門基礎科目の一部

4. 応募資格

(1) 博士の学位を有する方。

(2) 当該専門分野において准教授にふさわしい研究業績を有し、今後当該分野において新規性・独創性を持つ研究を展開できること。また震災復興にも貢献できることが望ましい。

(3) 学部生及び大学院生に対する教育研究指導を熱心に行えること。

(4) 学部及び課程の運営に積極的に参加できること。

5. 任用予定日：平成27年3月1日以降のできるだけ早い時期

6. 提出書類

(1) 履歴書1通(写真貼付、署名、捺印のあるもの。市販の履歴書で可)

(2) 研究業績目録1部(別紙作成要領を参照)

(3) 主要論文別刷5編以内(コピー可)

(4) これまでの研究概要及び今後の教育・研究に対する抱負(2000字程度)

(5) 照会可能な方2名の氏名と連絡先(住所、電話、e-mail)

7. 公募締切日：平成27年1月16日(金)(必着)

8. 応募書類提出先及び問い合わせ先

提出先：〒020-8550 盛岡市上田3-18-8

岩手大学農学部農学生命課程

高畑義人

(応募封筒には「農学生命課程准教授応募書類在中」と朱書きして、簡易書留で郵送あるいは持参して下さい。なお応募書類は返却致しません。)

問い合わせ先： 電話：019-621-6151、 e-mail: ytakahata@iwate-u.ac.jp

9. 面接書類選考の後、面接等を実施する場合があります(この場合の交通費等経費は自己

負担となります)。

10. その他

(1) 農学生命課程のホームページURL は下記の通りです。

<http://news7a1.atm.iwate-u.ac.jp/department2/agri/index.html>

(2) 岩手大学は男女共同参画を推進しています。業績及び資格等に関わる評価が同等と認められる場合には、女性を優先的に採用します。両住まい手当制度や子育て・介護中の研究者に対する支援策等についてはこちら (www.iwate-u.ac.jp/gender/) をご覧ください。

「研究業績」の作成について（2007．4）

農学部教員人事委員会

研究業績は、A 4判の用紙に A. 著書・訳書、B. 学位論文、C. 総説・論説、D. 原著論文 (a) 学術雑誌*¹、(b) 紀要*²、(c) プロシーディングス、E. その他*³、F. 報告書・事業報告書等*⁴、G. 特許・設計等、H. 国際学会発表*⁵、I. 国内学会発表*⁵の順に、下記の例を参考にして作成してください。例えば総説・論説がない場合は、C. 原著論文のように繰り上げてください。マージンは左右上下約3cmに設定し、1行35～40字で40行程度（日本文の場合フォントのサイズは10.5～12程度）にしてください。

- * 1：学会誌、国際誌等を年代順に記載する。
- * 2：試験場報告、研究所報告等を含む。
- * 3：商業雑誌、資料等に記載する。
- * 4：調査報告書、科学研究費報告書、事業報告書等に記載する。
- * 5：最近5ヵ年について記載する。（教授選考の場合、I. 国内学会発表は不要）
- * 6：著者名にアンダーラインを付け、コレスポンディングオーサーあるいは筆頭著者とイコールコントリビューションの場合は二重のアンダーラインを付ける。ただし論文にその記載がある場合に限る。
- * 7：英文で著者名を記載する場合は、下記のようにする。
1. Morioka, J., Iwate, I. and Akita, N. (1986)
- * 8：学名にはアンダーラインをつけるか、またはイタリックで記載する。
- * 9：論文番号は全角、英数字は半角にする。また、巻数はボールド（太字）とする。
- * 10：Journal は略記する。
- * 11：発行又は発表予定として記載可能なのは in press か accepted のみとする。

〈記載例〉

研 究 業 績 （著書・学術論文等）

A. 著書・訳書

1. 岩手一郎（単著）（1990）
農学について．〇〇出版社，東京，100p.
2. 岩手一郎（分担執筆）（1991）
北上山地における畜産業，「岩手の農業」（大学太郎，学部一郎編），△△堂，盛岡，pp. 10-20.
3. 岩手一郎（分担翻訳）（1992）

トウモロコシ,「アメリカの農業」(A.B.Carter 著, 大学太郎監訳), ◇◇社, 東京, pp. 20-30.

4. Iwate, I. and Morioka, J. (分担執筆) (1993)
Agriculture in Japan, "Agricultural Sciences"(Eds.: D. E. F. Green and H. I. James), Bio Press, London, pp. 20-30.

B. 学位論文

1. 岩手一郎 (1980)
X Y Zに関する研究. [◇◇学修士または修士 (◇◇学) ○○大学]
2. 岩手一郎 (1983)
A B Cに関する研究. [◇◇学博士または博士 (◇◇学) ○○大学]

C. 総説・論説

1. 岩手一郎 (1994)
岩手における野生動物の分布. 岩手の自然 No.3 : 1-5.
2. 岩手一郎, 盛岡次郎 (1995)
岩手山の植物分布. 岩手植物誌 15 : 215-220.

D. 原著論文

(a) 学術雑誌

1. 岩手一郎 (1985)
岩手の野生動物に関する研究. 日動学誌 5 : 15-20.
2. Morioka, J., Iwate, I. and Akita, N. (1986)
Distribution of wild animals in Iwate Prefecture. Jpn. J. Anim. Sci. 20 : 100-105.
3. Iwate, I. (1990)
Calcium metabolism in laying Japanese quail (*Coturnix coturnix japonica*). Jpn. Avian Physiol. 25 : 15-20.

(b) 紀要

1. 岩手一郎 (1985)
トウホクヤマネズミの生態について. 岩手大農報 17 : 30-40.

(c) プロシーディングス

1. Iwate, I., Morioka, J. and Akita, N. (1995)
Mode of life of Japanese macaques in northern Japan. Proc. 5th Int. Cong. of Wild Animals, Berlin, pp. 101-102.

E. その他

1. 盛岡次郎, 岩手一郎 (1990)

北上山系におけるニホンカモシカの生態調査. 野生動物 No.125 : pp. 35-45.

F. 報告書・事業報告書等

1. 盛岡次郎, 岩手一郎 (1993)

イヌワシのPCB汚染. 自然動物調査報告 (△△県), pp. 10-11.

G. 特許・設計等

1. 盛岡次郎, 岩手一郎 (1993)

イヌワシ捕獲装置 特許第 1234567 号

H. 国際学会発表 (最近 5 か年)

1. Morioka, J. and Iwate, I. (1996)

Ecological study of wild animals in Japan. 5th Int. Anim. Ecol., New York.

I. 国内学会発表 (最近 5 か年)

1. 岩手一郎, 盛岡次郎 (1997)

岩手の野生動物. 第 100 回日本野生動物学会講演要旨 : 25-26.